



岡本 啓（健康科学）

2022 年度「教養ゼミ」の活動紹介

1 年生対象の少人数授業である「教養ゼミ」について、私の授業では文書作成の基本を学ぶことを目標に、学生の皆さんには課題とする文書の作成に取り組んでもらっています。

前期授業では、読み手にとってわかりやすい文章や段落構成を意識するのに適当であるので、スポーツの競技ルール説明書の作成を課題としています。バドミントンなど実践経験があって広く普及している競技と、あまりなじみのないパラリンピック競技をそれぞれ一つ選び、そのスポーツの試合進行手順や競技としての特長などの説明が読み手に正確に伝わっているか、ゼミのメンバー相互で確認し合っています。

後期授業では、マスコミなどでよく取り上げられる社会的な話題を各自が選び、それを調査テーマとしたレポートを作成することを課題としています。理科系の原著論文にみられる表題・緒言・方法・結果・考察・結論・参照資料という基本的な書式を利用して、資料に当たって事実を整理し、議論すべき問題点を絞り、自分の考えをまとめる、という作業を通じて、レポートの書き方を実践するものです。

中間報告の際に出されたゼミメンバーからの質問や要求に応えることができるように、レポートの完成に向けて、資料の追加と加筆修正をおこないます。

レポート完成版の報告後は、調査テーマに関連する図書を一冊、500～800 字で紹介します。図書紹介の書式は、本学教養教育センターが発刊し、1 年生全員に配付しているブックガイド『Virginibus Puerisque（若き人々のために）』になっています。

次ページの表は、2022 年度のゼミ生 13 名と私が作成したレポートの表題と、紹介された関連図書の一覧です。レポートの調査テーマは、様々な議論があって、容易に結論が得られるものではなく、社会的に関心の高い話題を選ぶようにしてもらっています。なお、表の最下段にある No.14 は、私（教員）のものであります。

No.	レポート表題	関連図書（著・編者、書名、発行所）
1	現在の教育費に対する課題とこれからについて	河合隼雄ほか『岩波講座 転換期における人間（別巻）教育の課題』岩波書店
2	働き方改革の理想と現実	濱口桂一郎『若者と労働 「入社」の仕組みから解きほぐす』中央公論新社
3	日本は少子高齢化・人口減少問題にどのような対応をしていくべきか	岡伸一『それでも年金は得だ 若者から高齢者までの年金入門』旬報社
4	ウクライナ紛争をどうやって終わらせるか	千々和泰明『戦争はいかに終結したか 二度の大戦からベトナム、イラクまで』中央公論新社
5	日本の育児休業の課題とこれから	竹信三恵子『日本株式会社の女たち』朝日新聞社
6	最低賃金の地域格差を減らすためには	ジェームズ・ブラッドワース『アマゾンの倉庫で絶望し、ウーバーの車で発狂した』光文社
7	教員不足を改善するためにはどのような取り組みが必要か	内田良『ブラック部活動 子どもと先生の苦しみに向き合う』東洋館出版社
8	税金による問題と対策	小池正明『図解 消費税のしくみと実務がわかる本』日本実業出版社
9	待機児童を削減するためにはどうすればよいか	八田達夫『待機児童対策 保育の充実と女性活躍の両立のために』日本評論社
10	電気自動車の利点と課題	松原隆彦『文系でもよくわかる 世界の仕組みを物理学で知る』山と溪谷社
11	動物実験は必要なのか	ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』早川書房
12	死刑制度は必要か	佐藤大介『ルポ 死刑 法務省がひた隠す極刑のリアル』幻冬舎
13	在日外国人への生活保護受給制度の課題	雨宮処凛『14歳からわかる生活保護』河出書房新社
14	医療行為として安楽死が認められる条件	加藤尚武『現代倫理学入門』講談社